	(提出者 議員発議)の推進を求める意見書」「新しい地方分権改革	代表 柳瀬映二) 「ほっと・さぽーと」 プ「ほっと・さぽーと」 「ほっと・さぽーと」	ク理事長 三原睦子) 賀県難病支援ネットワー める意見書」(提出者 佐 の確立を求	意見書採択 うにので採択され した。 ました。
--	---------------------------------	---	--	----------------------------------

委



特定療養費制度が廃止さ	一部改正が提案された。	費の助成に関する条例の	重度心身障害者の医療	う考及 上字作 書員会	文效享生常壬安司会	すべての議案を可決した。	会計補正予算など七件の	するもの、老人保健特別	のうち総務委員会が所管	小城市一般会計補正予算	その他、平成十八年度	弁があった。	定化に寄与したいとの答	スに算出。国保会計の安	しく過去三ヵ年度をベー	通しの意見に、予測は難	これに対し、今後の見	補正予算が提案された。	市国民健康保険特別会計	を含む平成十八年度小城	千八百十四万円余の減額	万円以上が対象となり、	月より七十万円から八十	高額医療費拠出金が十	約務常住委員会	公女からたたていて
審本	疑が	うた	が、	用老	保証	っい	金融	<i>d</i> s	THE I		のと	など	民症	般	る	ì,	分で	重	は白	がき	は、	未	なっ	の 提	険が	れま

度に再編されたもの。こ

れ、保険外併用療養費制

仙台市

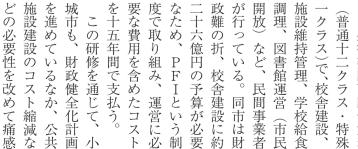
した。

審査をお願いしていると の答弁があった。 補正予算のうち、 かあり、

各金融機関に なっているかなどの質 融資条例の一部改正に さいて、未承認の部分 血人が不要になり、 小院手数料の一部改正 自己負担となるなど、 承認薬を使った場合 がきく診療の混合診療 ょで、 日の利便性は向上する ことになる。この他一 及身体障害者が保険部 利用できる部分が増 る、全額自己負担と **1**計補正予算、小城市 ていた。これからは、 て、原則として連帯 ,城市中小企業小口資 莱経済常任委員会 決定した。 原案通り可決するも その分助成額が増え 貸し付けの基準はど 基本的な部分は保険 保険外診療と保 災害 利







議会だより (6)

告